取り付けましたか？

設置は義務です

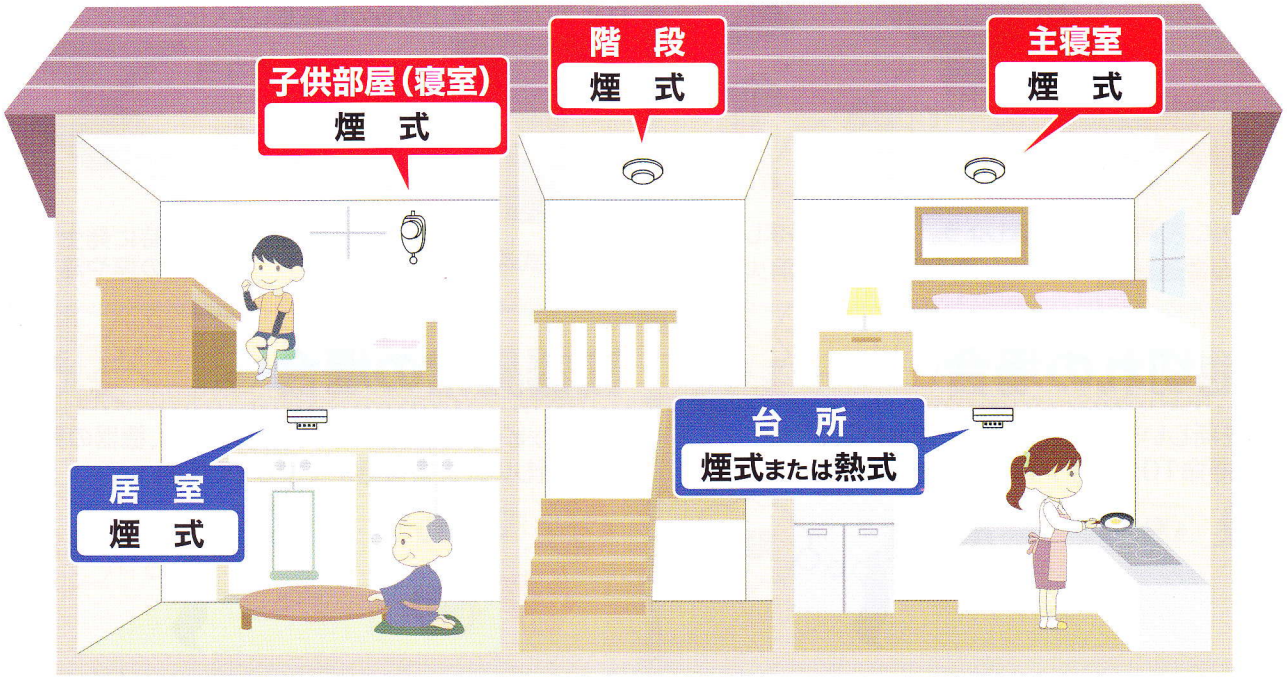
住宅用火災警報器

あなたの住宅にも、火災警報器の取り付けが義務付けられています。

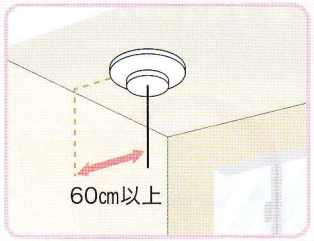
就寝に使われている部屋と、寝室が2階以上にある場合は階段に取り付けます。

設置する場所

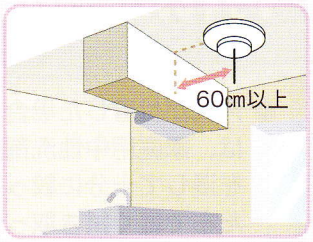
●寝室・階段への取り付けは義務付けられています。●台所・居室への取り付けもおすすめします。



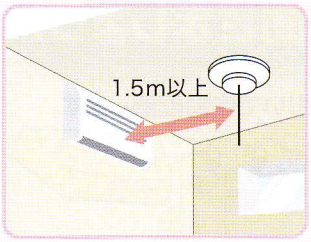
設置上の注意点（天井・壁面の取り付け位置）



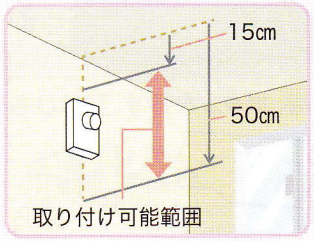
警報器の中心を壁から60cm以上離して取り付けます。



梁等がある場合は、梁から60cm以上離して取り付けます。



エアコン等の吹出し口がある場合は、吹出し口から1.5m以上離して取り付けます。



警報器の中心が天井から15cm～50cm以内に取り付けます。

購入の際には、このマークを目安にしてください。

日本の法令に適合することを日本消防検定協会が保証するものには、左記マークがついています。

※マークの付いている場所は機種により異なります。

志太消防本部　問い合わせ先　予　防　課　623－0119

取り付けただけではダメ!

住宅用火災警報器

あなたの家の火災警報器、日ごろのチェックやお手入れでさらに安全に!

万が一のために、警報が鳴った時の正しい対処法を知っておきましょう。

火災の時

警報音が鳴り、火災を見つけたら次のような対処をしましょう。

- 周りに**大声**で知らせましょう。
- **避難**しましょう。
- **119番通報**しましょう。
- 可能なら初期消火を。

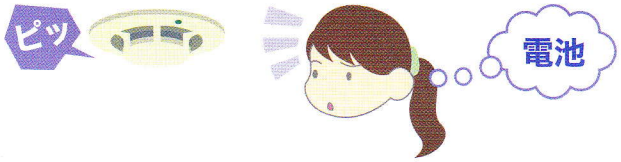
火災でない時

警報音停止ボタンを押すか、室内の換気をすると警報音は止まります。以下のものに注意してください。

- 燻煙(くんえん)式殺虫剤
- ホコリや小さな虫
- 調理時に発生する大量の煙や湯気

電池切れの場合

電池を新しいものに交換してください。
(電池寿命10年タイプは機器交換をしましょう。)

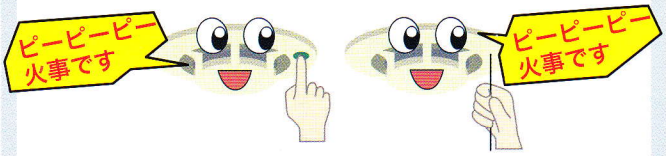


機器異常の場合

「ピッピッピッ」と一定の間隔で鳴る場合は、機器の異常です。新しい火災警報器に交換してください。

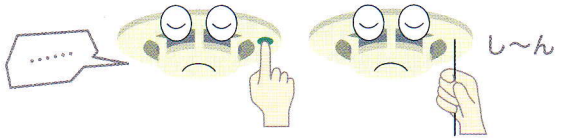
定期的に作動確認し、音を聞きましょう!

- ボタンを押す、又はひもを引いて作動確認します。



- 定期的に作動確認をしましょう。
- 定期的に家族で火災時の警報音を聞いてみましょう。

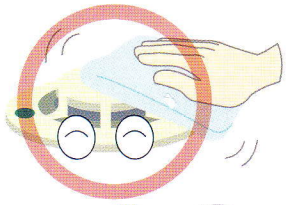
音が鳴らない場合は?



- 電池はきちんとセットされているかご確認ください。
- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

汚れた時のお手入れの仕方

- 汚れが付着した場合は、家庭用中性洗剤を浸して十分に絞った布で軽く拭き取ってください。



- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤の使用や、水洗いは絶対にしないでください。

- お掃除の方法は機種によって違いますので、取扱説明書をご覧ください。

※この警報音は代表例です。